

ジャパネットたかた テレビショッピングの歴史

1986

● たかたカメラグループより独立し、
長崎県佐世保市に「株式会社たかた」を設立。
ソニーショップとして観光写真の撮影・現像・商品の販売を行い、
その歴史をスタートさせる。



1990

● NBC長崎放送で第1回ラジオショッピング実施。
通販事業開始。

1991

● 北は北海道から南は沖縄まで、
全国のラジオ局でショッピングを展開。



1994

● KTNテレビ長崎にて、「ジャパネットたかたテレビショッピング」を開始。

「ジャパネットたかたテレビショッピング」スタート

さらに多くのお客様に商品と感動をお届けしたいという想いを叶えるために、テレビショッピングへ踏み出しました。最初は地元の放送局に番組の制作をお願いし、深夜1時間枠の収録放送。その後は月に数回、福岡や東京の制作会社へ出向き、自社での番組制作を開始。深夜の30分番組などから、全国の放送局へショッピングを広げていきました。



1995

● 顧客会員向けに通信販売カタログを発行。

● 新聞折り込みチラシを発行。
全国に向け、紙媒体での通販事業に本格参入。

1998

● TXテレビ東京で1時間のテレビショッピングを実施。



1999

● 社名を「株式会社たかた」から「株式会社ジャパネットたかた」に変更。

2000

● 大型総合カタログ「ジャパネット倶楽部」創刊。

● インターネットサイト「ジャパネットタウン」開設。
オンラインショッピングを開始。

2001

● 自社スタジオ開設。

自社スタジオ開設！

スタジオを借りて収録していたのですが、収録から放送まで2か月弱かかり、旬を逃してしまうことが課題でした。通信販売に一本化してもなお、お客様に寄り添えるよう、商品の変化や天候に合わせて旬情報を発信できる自社スタジオを2001年に建設。放送に関わるMC・制作・技術スタッフも自社社員を育成することで自前主義を貫き、スピード感ある改善および細部までこだわられる体制になりました。

● CSデジタル放送に専門チャンネル「ジャパネットスタジオ242」を開局し、生放送など全国放送を開始。

● NBC長崎放送で第1回生放送テレビショッピングを実施。
その後、全国の地上波テレビにおいて生放送ショッピングを展開。

2002

● 「ジャパネットスタジオ242」開局1周年を記念し、
24時間生放送テレビショッピングを実施。

2004

● 個人情報流出事件発覚。

2007

● 全国各地からの生中継を行うために、中継車を導入し、平戸中継を実施。

地上波テレビ放送での中継に初めてチャレンジ！

商品紹介の臨場感とお客様とのコミュニケーションを図るために、2007年に中継車を導入。地上波テレビ初の中継となったのは、高田明が生まれ育った平戸。その後も太秦(京都)や平泉(岩手)、札幌(北海道)など全国各地を巡り、さまざまな商品を紹介してきました。札幌の雪まつり会場から中継を行った際には、寒さのあまり中継車が凍ってしまうというハプニングも。中継にはたくさんの思い出が残っています。



2009

● テレビスタジオを本社社屋1階に移転・開設。
新テレビスタジオからの放送を開始。

● 全国のお客様へ少しでも早い配送を実現するため、日本の中心である愛知県春日井市より配送開始。

2010

● MBS毎日放送の野球中継にてジャパネット初のスポーツ中継と連動した生ショッピングを実施。

スポーツ生中継と連動の生放送ショッピング

ジャパネットグループの「今を生きる楽しさ」を！という想いに通じる部分が多くあることから、スポーツ協賛の取り組みを始めました。2010年にMBS毎日放送の野球中継にて初めて、スポーツ中継と連動した生ショッピングを実施し、2015年にはフジテレビ系列「ワールドカップバレー」で初めて全国ネットの生放送ショッピングを実施しました。



● ラジオショッピング20周年を迎え、民放AMラジオ26局ネットの特別番組「ラジオのちから」を実施。

● CSデジタル放送の専門チャンネル「ジャパネットスタジオ242」を「ジャパネットチャンネルDX」へリニューアル。



2011

● TXテレビ東京「快適ショッピングスタジオ」内で東日本大震災被災地支援として義援金と防災用品の売り上げ全額を寄付。

● CSデジタル放送の専門チャンネル開局10周年記念として47都道府県をエールでつなぐ「日本全国エールリレー」を実施。

被災地支援番組の放送

2011年、東日本大震災被災地支援としてテレビショッピングで防災用品をご紹介し、売り上げ金額の全額寄付を行いました。視聴者の皆様の応援メッセージを集めた「日本全国エールリレー」も実施。こうした取り組みは現在も「被災地支援プロジェクト」として継続しています。今後もこの支援の輪を絶やさず全国へ防災意識を広めるとともに、災害に迅速に対応し、長期的に世の中に貢献する会社を目指して被災地支援を行ってまいります。



2012

● 1日1商品を全媒体で紹介する「ジャパネット チャレンジデー」第1回実施。

● ジャパネットたかた 東京オフィスを開設。

● テレビショッピング初世界遺産二条城からの生中継ショッピング。



2013

- スマートデバイス用「ジャパネットアプリ」リリース。

2014

- BSジャパン(現・BSテレビ東京)にて初のゴールデンタイム生放送ショッピングを実施。

- 首都圏への発送を強化するため、関東に物流拠点を開設。

2015

- 高田旭人が代表取締役社長に就任。
新体制が発足し、企業理念や企業ロゴも刷新される。

- 全国の民放AMラジオ全47局をネットした
「ラジオのちから2015」を実施。



2016

- 創業30周年を迎え、
30時間生放送の中で高田明が退任。



- インターネットサイトを「Japanet senQua」として全面リニューアル。
磨き上げた最高の一品を販売する厳選集中の体制を強化。



- 全国の民放AMラジオ全47局をネットして、つながる・つなげるラジオのちから2016を実施。

2017

- TXテレビ東京「よじごじDays」にて情報番組と連動した生放送ショッピングを実施。

- ジャパネットクルーズ(全船貸切クルーズ)の販売開始。

2018

- 自社運営によるナチュラルミネラルウォーターの製造・販売開始。

2019

- ジャパネットたかたでのお買い物が送料無料の「ジャパネットカード」誕生。

- 業界初! 大型船の日本一周チャーターを6回実施。

- テレビショッピング25周年を迎え、25時間生放送を実施。

2020

- 「つながる・つなげる 24時間生放送スペシャル」を実施。

つながる・つなげる 24時間生放送スペシャル

コロナ禍で大変な年になった2020年。

日本に元気を届けたい!という想いを込めて、24時間生放送ショッピングを行いました。新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、販売先が少なくなっている“各都道府県の特産品”を救いたいと始まった生産者応援プロジェクトを、24時間生放送のスペシャルバージョンで、自宅にいながらも日本全国の美味しいものを味わえる!届けたい人、手にしたい人をつなぐ企画を行いました。

2021

ラジオショッピング30周年スペシャルウィークを実施。

富士山の天然水でつくるクラフトビール醸造所竣工。

ジャパネットウォーター 富士山ファクトリー新工場竣工。

2022

BS放送に新規参入

BS放送局「BSJapanext」開局



総務省公募の「BS新規放送チャンネル」の申請認定を受け、開局。

世の中に埋もれた素晴らしい商品・サービス・情報・エンターテインメント・考え方を選び抜いて紹介し、あらゆる素晴らしいモノを「つなぎ」、生活の変化を通して、「ワクワク」へ。

2024

テレビショッピング30周年を迎える

2025

BSJapanextとスターチャンネルがひとつに。

新しいBS放送局、誕生

2025年1月(予定)にBS10chにチャンネルポジションを変更し、チャンネル名を「BSJapanext」から「BS10(ビーエステン)」にリニューアル。衛星放送史上初(※)となる同じ10ボタンポジションでの無料放送と有料放送のハイブリッド運営を行います。あわせて、来年1月(予定)のリニューアル後よりBS10ボタンで「BS10」と「BS10スターチャンネル(以下スターチャンネル)」をご覧ください。

(※)チャンネルボタン同ポジション内での無料放送と有料放送のハイブリッド運営が衛星放送史上初

